



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月29日

上場会社名 伯東株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7433 URL <https://www.hakuto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 阿部 良二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画統括部長 (氏名) 海老原 憲 TEL 03-3225-3412
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	55,787	25.1	3,809	82.0	3,967	84.8	2,808	89.8
2022年3月期第1四半期	44,592	24.8	2,092	69.2	2,146	86.8	1,479	100.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 3,765百万円 (119.1%) 2022年3月期第1四半期 1,718百万円 (△7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	146.26	—
2022年3月期第1四半期	72.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	143,074	61,707	43.1	3,248.15
2022年3月期	131,490	61,668	46.9	3,142.83

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 61,707百万円 2022年3月期 61,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	60.00	—	100.00	160.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	80.00	—	80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	110,000	20.3	6,500	55.8	6,500	56.4	4,600	61.4	239.59
通期	197,000	2.9	7,000	△4.2	6,900	△6.9	5,000	0.6	254.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	23,137,213株	2022年3月期	24,137,213株
2023年3月期1Q	4,139,357株	2022年3月期	4,515,220株
2023年3月期1Q	19,199,123株	2022年3月期1Q	20,474,942株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進行し社会経済活動も再開され、景気回復の動きがみられましたが、資源価格の高騰やインフレ懸念の高まり、深刻化するウクライナ情勢など引き続き先行きは不透明な状況が続いております。

我が国の経済についても、本格的な経済活動の回復が期待されるものの、新たな変異株による新型コロナウイルス感染症の再拡大や円安の進行にともなう物価の上昇など不安定な状況にあります。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、半導体や電子部品の供給不足によるサプライチェーンの混乱や製品価格の値上げによる影響は続いたものの、依然として車載関連機器の需要は高く、産業機器分野における活発な設備投資も続いております。

このような状況のもと、当社グループの電子部品事業においては、半導体製品等の供給制約による影響は続くものの旺盛な需要に伴い、車載用途 I C の販売が大きく増加し、また産業機器関連の部品販売も伸長したことにより、対前年同期比で増収となりました。

電子・電気機器事業においては、半導体製造関連の活発な設備投資により真空機器やプリント基板製造装置が好調に推移し、対前年同期比で増収となりました。

工業薬品事業においては、顧客プラントの稼働率回復から石油・石油化学分野において増収となり、化粧品基剤の販売も伸長したことにより、対前年同期比で増収となりました。

このような環境下において、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は557億87百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

損益面につきましては、当第1四半期連結累計期間の連結売上総利益は82億24百万円（同42.4%増）となり、連結販売費及び一般管理費として44億15百万円（同19.9%増）を計上した結果、連結営業利益は38億9百万円（同82.0%増）、連結経常利益は39億67百万円（同84.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億8百万円（同89.8%増）となりました。

また、1株当たり四半期純利益は146円26銭となり、前年同四半期より73円99銭増加いたしました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

[電子部品事業]

電子部品事業では、PC・タブレット端末・HDD向け I C やコネクタ等の電子部品は低迷したものの、車載用途 I C は引き続き販売が増加し、産業機器向けの半導体デバイスやLCDパネル等の一般電子部品の販売も増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高465億26百万円（前年同期比27.9%増）となり、販売増加に伴う利益額の増加及び半導体デバイス事業を中心に為替影響による外貨建て輸出取引の収益改善等の要因により、セグメント利益は26億99百万円（同162.4%増）と大幅な増加となりました。

[電子・電気機器事業]

電子・電気機器事業では、引き続き半導体関連の設備投資の活発化によりプリント基板製造装置や真空機器の販売が伸長しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は59億47百万円（前年同期比15.3%増）となり、収益性の高い自社ブランド商品の販売増加等により、セグメント利益は8億8百万円（同44.2%増）となりました。

[工業薬品事業]

工業薬品事業では、紙・パルプ分野では販売が伸び悩みましたが、石油化学分野では顧客プラントの稼働率回復から工程添加剤等の販売が増加しました。また化粧品基剤の販売も引き続き堅調に推移したことにより、対前年同期比で増収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は31億61百万円（前年同期比9.0%増）となりましたが、資源価格高騰による原材料費の増加や販売費及び一般管理費の増加等の要因により、セグメント利益は3億47百万円（同21.3%減）となりました。

[その他の事業]

その他の事業では、当社の業務・物流管理全般の受託事業と太陽光発電事業を行っております。当第1四半期連結累計期間の売上高は3億31百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益は92百万円（同4.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して122億54百万円（10.7%）増加して1,269億24百万円となりました。これは主に販売の伸長とそれに伴う商品仕入れの増加により、受取手形、売掛金及び契約資産が49億6百万円、商品及び製品が49億35百万円増加したためであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して6億69百万円（4.0%）減少し、161億50百万円となりました。これは主に保有株式の株価の下落により、投資有価証券が7億12百万円減少したためであります。

以上のことから、当第1四半期連結会計期間末における資産の部全体としては、前連結会計年度末と比較して115億84百万円（8.8%）増加し、1,430億74百万円となりました。

負債につきましては、流動負債が前連結会計年度末と比較して99億円（17.9%）増加して653億20百万円となりました。これは主に運転資本（商品仕入れ）の増加により、支払手形及び買掛金が39億33百万円、短期借入金が56億55百万円増加したためであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して16億44百万円（11.4%）増加して160億46百万円となりました。これは主に長期借入金が20億50百万円増加したためであります。

以上のことから、当第1四半期連結会計期間末における負債の部全体としては、前連結会計年度末と比較して115億45百万円（16.5%）増加し、813億66百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して39百万円（0.1%）増加し、617億7百万円となりました。これは主に自己株式の消却により資本剰余金が16億78百万円、保有株式の時価の下落によりその他有価証券評価差額金が4億88百万円減少した一方で、利益剰余金が8億34百万円、為替換算調整勘定が14億59百万円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは33億11百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローは1億49百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは40億23百万円の収入となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して11億90百万円増加し、当第1四半期末は198億10百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間においては、税金等調整前四半期純利益39億75百万円等の収入要因がありましたが、棚卸資産の増加額42億86百万円、売上債権の増加額49億41百万円等により、営業活動によるキャッシュ・フローは33億11百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には税金等調整前四半期純利益21億45百万円等により33億83百万円の収入となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間においては、有形固定資産の取得による支出1億51百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは1億49百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には有形固定資産の取得による支出92百万円等により、1億9百万円の支出となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間においては、自己株式の取得による支出18億円、配当金の支払額18億52百万円等の支出要因がありましたが、短期借入による収入（純）49億円、長期借入による収入（純）28億5百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは40億23百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には、短期借入金の返済による支出（純）25億円等により、45億円の支出となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績動向を踏まえ、2022年4月28日に公表いたしました2023年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2022年7月29日）公表いたしました「第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、現時点で通期の業績予想に変更はありませんが、今後業績予想に変更が生じた場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,620	19,810
受取手形、売掛金及び契約資産	40,799	45,705
電子記録債権	9,300	10,634
商品及び製品	40,233	45,169
仕掛品	104	107
原材料及び貯蔵品	925	1,028
その他	4,709	4,492
貸倒引当金	△22	△24
流動資産合計	114,670	126,924
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	860	843
機械及び装置（純額）	1,470	1,471
土地	3,053	3,053
その他（純額）	1,017	1,066
有形固定資産合計	6,401	6,434
無形固定資産	285	275
投資その他の資産		
投資有価証券	9,632	8,920
繰延税金資産	190	199
その他	337	348
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	10,132	9,439
固定資産合計	16,819	16,150
資産合計	131,490	143,074

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,583	25,516
電子記録債務	2,932	3,135
短期借入金	19,990	25,645
リース債務	322	293
未払法人税等	1,910	1,581
賞与引当金	2,190	1,124
役員賞与引当金	70	—
製品保証引当金	13	18
その他	6,407	8,005
流動負債合計	55,419	65,320
固定負債		
長期借入金	12,624	14,674
リース債務	198	232
繰延税金負債	1,286	860
役員退職慰労引当金	18	14
退職給付に係る負債	249	239
その他	24	25
固定負債合計	14,401	16,046
負債合計	69,821	81,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,347	5,669
利益剰余金	45,847	46,681
自己株式	△7,658	△7,732
株主資本合計	53,636	52,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,234	4,746
繰延ヘッジ損益	66	43
為替換算調整勘定	2,918	4,377
退職給付に係る調整累計額	△187	△178
その他の包括利益累計額合計	8,032	8,989
純資産合計	61,668	61,707
負債純資産合計	131,490	143,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	44,592	55,787
売上原価	38,816	47,562
売上総利益	5,775	8,224
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,203	1,228
賞与引当金繰入額	471	780
退職給付費用	102	98
その他	1,904	2,307
販売費及び一般管理費合計	3,682	4,415
営業利益	2,092	3,809
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	78	171
為替差益	—	13
持分法による投資利益	3	16
その他	41	56
営業外収益合計	128	264
営業外費用		
支払利息	34	44
売上債権売却損	7	35
為替差損	26	—
その他	6	26
営業外費用合計	75	106
経常利益	2,146	3,967
特別利益		
固定資産売却益	0	8
特別利益合計	0	8
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
その他	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,145	3,975
法人税等	665	1,167
四半期純利益	1,479	2,808
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,479	2,808

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,479	2,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	300	△487
繰延ヘッジ損益	△34	△22
為替換算調整勘定	77	1,459
退職給付に係る調整額	△104	8
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	238	957
四半期包括利益	1,718	3,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,718	3,765

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,145	3,975
減価償却費	217	233
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△645	△1,078
受取利息及び受取配当金	△82	△177
支払利息	34	44
持分法による投資損益 (△は益)	△3	△16
固定資産除売却損益 (△は益)	0	△8
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△22	3
売上債権の増減額 (△は増加)	1,605	△4,941
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△877	△4,286
仕入債務の増減額 (△は減少)	177	2,868
その他	1,707	1,609
小計	4,255	△1,774
利息及び配当金の受取額	99	194
利息の支払額	△34	△48
法人税等の支払額	△937	△1,682
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,383	△3,311
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△92	△151
有形固定資産の売却による収入	0	8
無形固定資産の取得による支出	△9	△7
投資有価証券の取得による支出	△3	△0
その他	△3	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△109	△149
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	33,800	61,000
短期借入金の返済による支出	△36,300	△56,100
リース債務の返済による支出	△57	△76
長期借入れによる収入	—	4,000
長期借入金の返済による支出	△970	△1,195
自己株式の取得による支出	△295	△1,800
自己株式の処分による収入	—	47
配当金の支払額	△678	△1,852
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,500	4,023
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	627
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,195	1,190
現金及び現金同等物の期首残高	17,867	18,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,671	19,810

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年4月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株の消却を行いました。この消却により自己株式及び資本剰余金が1,678百万円減少し、資本剰余金は5,669百万円となっております。また同日開催の取締役会決議に基づき、自己株式644,000株の取得を行い、自己株式が1,799百万円増加しました。

これらの消却、取得等により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が74百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が7,732百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	36,387	5,156	2,899	320	44,763
セグメント利益	1,028	560	442	89	2,121

当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気 機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	46,526	5,947	3,161	331	55,967
セグメント利益	2,699	808	347	92	3,948

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
報告セグメント計	44,763	55,967
セグメント間取引消去	△171	△179
四半期連結財務諸表の売上高	44,592	55,787

(単位：百万円)

利益	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
報告セグメント計	2,121	3,948
その他の調整額	△28	△139
四半期連結財務諸表の営業利益	2,092	3,809

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。